

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報									
事業コード	1134			事務事業名 (予算事業名)	法定外公共物管理事務事業 (法定外公共物管理事務事業)				
予算科目	会計	1	款	45	項	10	目	10	

計画 (Plan)										
計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち				根拠	法令(国)		
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる					法令(県)		
	施策	27	利便性の高い道路ネットワークの充実					市条例	上天草市法定外公共物管理条例、同施行規則	
事業開始		平成17年度				その他				
目的・目標 (何のために)		法定外公共物 (道路法の適用または準用を受けない里道、河川法の適用または準用を受けない水路) の管理及びその利用について、公共の安全を保持するとともに生活環境の保全かつ適正な利用を図り、公共の利益に寄与するため。								
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		法定外公共物 (里道、水路) を住民が安全かつ安心して利用でき、またその機能を十分に果たせるように崩壊箇所等の補修、危険箇所等の整備を行う。 地籍調査済み箇所の管理台帳図修正、法定外公共物の用途廃止、占用許可、占用料徴収、工事施行許可、官民境界立会、無断占用箇所の把握・管理をおこなう。								
対象者 (誰に対して) …指標②		法定外公共物 (里道、水路) を利用する市民								
手段・実施方法 (どのようにするか)		危険箇所や崩壊、土砂堆積等の通報があった場合、現地確認後適切な処置を行う。また、占用箇所については占用の申請を受け、工事を行う場合にあっては施工申請を受け影響がないと判断されるときは許可を行い、適正な利用を管理する。 用途廃止や付替えがあった場合には台帳等の修正を行い、適切に管理する。								
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		法定外公共物を恒常的に維持、管理し、適切な利用をしてもらうことで住民の生活道路であり農地や山林への通用路として利用される。水路は用水路、排水路として深く住民の生活に関わっている。								

実施 (Do)										
指標 / 年度	指標 / 年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
				(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア 維持	単位	目標値	0	0	0	0	0	0
			件	実績値	0	3	5	0	0	0
	②	対象指標ア 法定外公共物の用途廃止	単位	目標値	0	0	0	0	0	0
			件	実績値	0	7	7	0	0	0
	③	成果指標ア	単位	目標値						
				実績値						
		成果指標イ	単位	目標値						
				実績値						
	④	上位成果指標ア	単位	目標値						
				実績値						
	上位成果指標イ	単位	目標値							
			実績値							
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金		千円					
			県支出金		千円					
			地方債		千円					
			その他		千円	225	231	268	210	
			一般財源		千円	8,879	266	157	1,253	
	事業費計 (A)			千円	9,104	497	425	1,463	0	
	人件費	正規職員従業者人数		人	5	0	0	0	0	
		延べ業務時間数		時間	567	0	0	0	0	
		人件費計 (B)		千円	2,268	0	0	0	0	
		トータルコスト (A) + (B)			千円	11,372	497	425	1,463	0

事務事業名	法定外公共物管理事務事業	部	建設部	課	建設課	係	管理係
-------	--------------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 法定外公共物については国から譲与を受け市町村が直接管理することにより、住民の要望に対して、よりきめ細かな対応ができる。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 法定外公共物は、国の譲与を受け機能管理、財産管理とも自治事務とするものとされていることから公共関与は妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 対象・意図ともに限定され国から譲与されていることから妥当である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 旧4町の時には維持管理に対する住民の考え方、行政の対応に違いが見られるため、今後統一した方向に住民の考え方を持っていけば成果向上の余地はあると思われる。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 機能管理、財産管理とも自治事務とするものとして国から譲与されているものであり、廃止・休止はできないが、現況確認ができない箇所や現状利用がない箇所から優先して払下げ等を推進することにより管理箇所を削減することができる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由 境界確認等の事務は他にもあるが、財産の違いにより統合して処理することは煩雑になりすぎる。
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 里道、水路の維持管理は、地区住民でできる範囲は地域活動等で行われている。これらの活動が活性化すれば削減の方向にある。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 職員一人で担当しているが、案件数が多いため無断占用箇所等の把握も十分できておらず、現時点では削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 受益者は不特定多数であり、不公平のない事業とするため、課内での打ち合わせを十分に行っている。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

里道、水路などの法定外公共物は、今後も維持管理が重要な財産であるので、可能な限り管理を続けていく。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
現在の体制では、現状維持しか出来ない。			削減	維持	増加
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
地元住民への協力依頼等を強化しながら、管理の強化に努める。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	413			事務事業名 (予算事業名)	土木総務一般事務事業 (土木総務一般事務事業)			
予算科目	会計	1	款	45	項	10	目	10

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実		市条例	
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標 (何のために)		建設課事務事業における業務共有化の推進や事務機器の管理、スキルアップのための各種研修会等参加。市道他管理施設の保全を継続的に行い、災害時には迅速な対応を図るために物品等の整備や初期対策を講じる。				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		建設課の土木関係全般(各事業以外)の予算を計上。積算資料等の事務遂行上必要な書籍購入、積算システム管理及び修正対応、各種事務機器の契約管理、各種協会・協議会等負担金(年会費)の調整を行う。 また、市道等管理施設の簡易的な保守・保全や、豪雨時の家裏がけ崩れ等対応(土砂撤去等)。				
対象者 (誰に対して) …指標②		市民・九州管内・県内の各種協会・協議会				
手段・実施方法 (どのようにするか)		各種協会・協議会への負担金：7件 1,346千円、家裏がけ崩れ等対応、市道等の保守・保全、家裏がけ崩れ等は通報後に現地確認を実施し補修の実施及び土砂撤去の必要性を判断し発注する。				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		各種協会・協議会は国家予算の獲得のための陳情活動や土木技術を高めるための研修・講習会や技術教書の発行により、土木技術の向上に寄与している。 市民の暮らしの安心安全の向上。				

実施 (Do)

	指標 / 年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
			(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	7	7	7	0	0
		加入している協会・協議会数	件	実績値	7	7	7	0	0
	②	活動指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	③	対象指標ア	単位	目標値	0	0	0	0	0
		加入協会・協議会数(全国レベル)	件	実績値	0	0	0	0	0
	④	対象指標イ	単位	目標値	1	1	1	0	0
		加入協会・協議会数(九州レベル)	件	実績値	0	1	1	0	0
	⑤	成果指標ア	単位	目標値					
				実績値					
⑥	成果指標イ	単位	目標値						
			実績値						
⑦	上位成果指標ア	単位	目標値						
			実績値						
⑧	上位成果指標イ	単位	目標値						
			実績値						
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円	306	166	21		
			一般財源	千円	28,882	24,497	18,799	26,215	
	事業費計(A)	千円	29,188	24,663	19,820	26,215	0		
	人件費	正規職員従業者人数	人	5	0	0	0	0	
延べ業務時間数		時間	977	0	0	0	0		
	人件費計(B)	千円	3,908	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	33,096	24,663	19,820	26,215	0	

事務事業名	土木総務一般事務事業	部	建設部	課	建設課	係	管理係
-------	------------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 各種協会・協議会への加入は地域振興・公共土木事業の底辺を支える役割を果たしており、市道等施設保守・保全是管理者として果たすべき責務と考えることから適切と考える。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 協議会へ加入し、各種予算要望等を実施することから必要であり、道路等施設は管理者である市で管理することが適切であり市民の安心安全を図ることが必要。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 協議会等の加入にあつては必要性から公的機関により組織されたものであり、市民の生活に密接した市道等の管理であることから意図、対象共に限定すべき。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 積極的な活動を展開するのであれば協議会の加入等を拡充し、予算確保に向けた取組みの強化が図れるので向上の余地はあるものと考えられる。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 協会・協議会を退会した場合、他市町村に影響を及ぼすもので他市町村の動向も注視していく必要がある。市道等の管理施設においては、適切な保全作業に影響が出るもの。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 協会等は類似しているようであるが、それぞれ分野が違うので統合は難しいが、連携は可能と考える。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 各協議会で決定されたことなので削減余地はない。事業費を下げると、市道等保守・保全についても適正な運用ができない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 不測の災害等により増加が見込まれることがあるため削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 管理者が適正に保つ責務を有するため、受益負担は負わすべきでない。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）
 協会・協議会負担金については他市町村の動向により検討の余地があるが、市道等の保守・保全については老朽化等による補修が増加する可能性がある。
 土砂撤去（家裏等）については、不測の災害等による崩壊により事業に該当する場合や、要望により業務時間が膨らむ。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
現状維持しながら、将来的には協議会のあり方を再検討する。			削減	維持	増加
			向上	維持	低下
			<input checked="" type="checkbox"/>		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
 協会・協議会等の取捨選択の実施

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	417			事務事業名 (予算事業名)	公共下水道事業繰出金 (公共下水道事業繰出金)			
予算科目	会計	1	款	45	項	10	目	10

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実		市条例	上天草市下水道事業会計補助金交付要綱
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標 (何のために)		松島町で実施した公共下水道建設事業にかかる借入資金(地方債)の償還金を支払うため、使用料及び受益者負担金との不足額を一般会計で補うため公共下水道事業特別会計に補助金を交付する。				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		地方債の償還金を償還するため、使用料及び受益者負担金との不足額を6月・9月・3月の年3回、一般会計から公共下水道事業特別会計に補助金を交付及び支出するための事務を行う。				
対象者 (誰に対して) …指標②		公共下水道事業特別会計				
手段・実施方法 (どのようにするか)		補助金額 192,212千円				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		公共下水道建設時に要した工事費及び維持管理に係る地方債の償還金の支払事業であることから、効果として現れづらい。				

実施 (Do)

指標 / 年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	(決算)		(決算)		(決算)		(予算)		(予算)	
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	4	1	3	0	0	
		支払い回数	回	実績値	4	1	3	0	0	
	②	活動指標イ	単位	目標値						
				実績値						
	③	対象指標ア	単位	目標値	201,660	176,234	182,361	0	0	
		繰出額の総額	千円	実績値	177,260	182,427	192,212	0	0	
	④	対象指標イ	単位	目標値						
				実績値						
	⑤	成果指標ア	単位	目標値						
				実績値						
	⑥	成果指標イ	単位	目標値						
				実績値						
⑦	上位成果指標ア	単位	目標値							
			実績値							
⑧	上位成果指標イ	単位	目標値							
			実績値							
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	177,260	182,427	192,212			
	事業費計(A)	千円	177,260	182,427	192,212	0				
	人件費	正規職員従業者人数	人	3	0	0	0			
延べ業務時間数		時間	120	0	0	0				
	人件費計(B)	千円	480	0	0	0				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	177,740	182,427	192,212	0				

事務事業名	公共下水道事業繰出金	部	建設部	課	建設課	係	管理係
-------	------------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 元となる事業が公共性の高い生活環境を向上させるものなので適切である。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 公共事業実施時の地方債償還であることから、目的は妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 公共事業実施時の借入れであるため対象、意図ともに限定される。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 借入時に返済額、期間が決定しているため向上の余地はないと考えるが、高金利の償還金については低金利に借換えをおこなう等の可能性を探るべきと考える。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 地方債の償還に影響を及ぼすため
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		理由 地方債償還が最終年度を迎えない限り現状ではないと考える。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 地方債の償還金を補填するものであることから。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 必要最低限で執行できている。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 元となる事業が公平・公正なものであり適切である。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

特になし

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
繰出金事業につき現状維持する。			削減	維持	増加
向上	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

現状維持

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	426			事務事業名 (予算事業名)	道路維持事業 (道路維持事業)			
予算科目	会計	1	款	45	項	15	目	10

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	道路法
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実		市条例	
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標 (何のために)		安全で快適な道路環境の維持				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		市道の維持管理について、道路整備工事、小規模な修繕・補修及び草刈り等を年間を通じて行い利用者の安全を図る。 維持工事要望等→現地調査→維持修繕計画の策定→優先順位度の設定→工事実施。 維持工事4路線 補修工事5路線 機械借上45件				
対象者 (誰に対して) …指標②		地域住民及び通行利用者				
手段・実施方法 (どのようにするか)		市道の突発的な補修及び老朽化による道路施設の損傷が激しく、地域住民や通行利用者が安全に通行できるよう維持・補修工事を実施し、利便性の向上や交通の安全を図る。				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		安全で快適な通行の確保 移動時間の短縮				

実施 (Do)

指標 / 年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	(決算)		(決算)		(決算)		(予算)		(予算)	
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	5	4	16	0	0	0
		維持工事	路線	実績値	5	4	16	0	0	0
	②	活動指標イ	単位	目標値	8	5	0	0	0	0
		補修工事	路線	実績値	8	5	0	0	0	0
	③	対象指標ア	単位	目標値	5	4	0	0	0	0
		要維持工事路線	路線	実績値	5	4	0	0	0	0
	④	対象指標イ	単位	目標値	8	5	0	0	0	0
		要補修工事路線	路線	実績値	8	5	0	0	0	0
	⑤	成果指標ア	単位	目標値	5	4	0	0	0	0
		維持工事実施路線	路線	実績値	5	4	0	0	0	0
	⑥	成果指標イ	単位	目標値	8	5	0	0	0	0
		補修工事実施路線	路線	実績値	8	5	0	0	0	0
⑦	上位成果指標ア	単位	目標値							
			実績値							
⑧	上位成果指標イ	単位	目標値							
			実績値							
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			県支出金	千円						
			地方債	千円			16,400	34,200		
			その他	千円	5,578	5,603	5,937	5,600		
			一般財源	千円	34,333	36,848	11,815	13,615		
	事業費計(A)	千円	39,911	42,451	34,152	53,415	0	0		
人件費	正規職員従業者人数	人	6	0	0	0	0	0		
	延べ業務時間数	時間	1,165	0	0	0	0	0		
	人件費計(B)	千円	4,660	0	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	44,571	42,451	34,152	53,415	0	0	

事務事業名	道路維持事業	部	建設部	課	建設課	係	工務係
-------	--------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 都市基盤の整備（快適で災害に強いまちづくり）の施策体系と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 市道の維持管理は道路管理者の義務である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 市道利用者は不特定多数である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 道路の機能を維持することが目標である。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 廃止・休止した場合、利用者の安全を確保することができない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 道路利用者の安全を確保するような類似事業は他にない。
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦事業費の削除余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現在も工事は再生材を使用する等、コスト削減を図っている。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現在も工事発注に関する測量・設計を必要最小限の人員で実施している。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 特定多数が道路を利用しており、公平である。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

毎年、地区要望、道路パトロール等により道路施設等の点検を実施。点検調査を基に整備路線を把握し事業執行しているが、限られた予算の範囲内で実施しているため一部の路線しか整備の改善がされていない。今後、道路維持修繕計画等を作成し、優先順位評価要領に基づくランク付けを行い優先順位の高い箇所から整備を実施し、更なる向上を目指す。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
道路管理者として道路利用者の安全を確保することは、義務であるので事業の廃止は考えられない。			削減	維持	増加
			向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報									
事業コード	431			事務事業名 (予算事業名)	道路改良(補助)事業 (補助事業)				
予算科目	会計	1	款	45	項	15	目	15	

計画(Plan)										
計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち				根拠	法令(国)	道路法	
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる					法令(県)		
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実					市条例		
事業開始		平成17年度				その他				
目的・目標(何のために)		安全で円滑な道路交通の確保。								
事務事業概要(どのようなことを) …指標①		計画路線は、道路幅員が狭く歩行者や車両の通行時に危険な状態にある。周辺の住民や道路利用者から改良事業に対し強く要望されている。本事業実施により歩行者や車両の通行の安全性を確保し、利便性の向上を図る。								
対象者(誰に対して) …指標②		一般道路利用者								
手段・実施方法(どのようにするか)		道路改良1路線(補助事業) 予算要求、交付申請、測量設計、用地交渉、土地登記、工事発注、監督、検査、補助金請求、実績報告								
期待される(見込まれる)成果(効果) …指標③④		道路拡幅整備を行なうことにより、道路利用者の安全性及び快適性を向上することができる。また、道路交通がスムーズになることにより地域の経済効果の向上に寄与する。								

実施(Do)				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
指標 / 年度				(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)	
ハ指標 V	①	活動指標ア 道路改良延長	単位	目標値	80	75	50	0	0
			m	実績値	80	75	50	0	0
		活動指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	②	対象指標ア	単位	目標値					
				実績値					
		対象指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	③	成果指標ア	単位	目標値					
				実績値					
		成果指標イ	単位	目標値					
				実績値					
④	上位成果指標ア	単位	目標値						
			実績値						
	上位成果指標イ	単位	目標値						
			実績値						
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		10,340	3,605	130,515	
			県支出金	千円					
			地方債	千円	600	5,500	3,100	75,500	
			その他	千円					
			一般財源	千円	68	97	51	3,985	
	事業費計(A)			千円	668	15,937	6,756	210,000	0
人件費		正規職員従業者人数	人	6	0	0	0	0	
		延べ業務時間数	時間	2,400	0	0	0	0	
		人件費計(B)	千円	9,600	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	10,268	15,937	6,756	210,000	0	

事務事業名	道路改良（補助）事業	部	建設部	課	建設課	係	工務係
-------	------------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 市道整備に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 公共施設である道路は、不特定多数の人が利用するものであり市で行なうことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 一般道路利用者を対象としている。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 定められた路線を整備するものであり向上の余地はない。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 市道の未改良部が多く存在する中、事業の廃止・休止を行なうと市民の生活環境の改善が図れない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 市道の整備であり、道路事業以外での方法はない。
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現在においても再生材を利用する等のコスト縮減を図っているため、今後、事業費削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 最小限の人員により適切な方法で業務を行なっているため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 道路は不特定多数の人が利用するものであり公平である。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

施工箇所については、効果につながる事業が実施できている。今後も国交付金等を活用することで財政負担を抑制し、最大限の効果が出るように業務を推進したい。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入				
成果	効果につながる事業の実施ができた。今後も最小限の予算で、最大の効果が出るように業務を推進したい。		コスト	
		削減	維持	増加
	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
低下	<input type="checkbox"/>			

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	435			事務事業名 (予算事業名)	道路改良(単独)事業 (単独事業)			
予算科目	会計	1	款	45	項	15	目	15

計画(Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	道路法
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実		市条例	
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標(何のために)		安全で円滑な道路交通の確保。				
事務事業概要(どのようなことを) …指標①		画路線は道路幅員が狭く、歩行者や車両の通行時には危険な状態にある。周辺の住民や道路利用者より改良事業に対し強く要望されている。よって本事業により歩行者や車両の通行の安全性を確保し、利便性の向上を図る。				
対象者(誰に対して) …指標②		一般道路利用者				
手段・実施方法(どのようにするか)		路改良4路線(単独事業) 予算要求、測量設計、用地交渉、土地登記、工事発注、監督、検査				
期待される(見込まれる)成果(効果) …指標③④		道路整備を行なうことにより、道路利用者の安全性及び快適性を向上させることができる。また、道路交通がスムーズになることにより地域の経済効果の向上に寄与する。				

実施(Do)

	指標 / 年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
				(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)	
ハ 指標 V	①	活動指標ア 道路改良延長	単位	目標値	450	230	250	0	0
			m	実績値	450	230	250	0	0
		活動指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	②	対象指標ア	単位	目標値					
				実績値					
		対象指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	③	成果指標ア	単位	目標値					
				実績値					
		成果指標イ	単位	目標値					
				実績値					
④	上位成果指標ア	単位	目標値						
			実績値						
	上位成果指標イ	単位	目標値						
			実績値						
総 投 入 量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円	37,500	49,500	12,800	23,700	
			その他	千円					
			一般財源	千円	2,019	2,788	3,288	1,560	
	事業費計(A)			千円	39,519	52,288	16,088	25,260	0
	人件費		正規職員従業者人数	人	6	0	0	0	0
延べ業務時間数			時間	2,367	0	0	0	0	
人件費計(B)			千円	9,468	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	48,987	52,288	16,088	25,260	0	

事務事業名	道路改良（単独）事業	部	建設部	課	建設課	係	工務係
-------	------------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 市道整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 公共施設である道路は、不特定多数の人が利用するものであり市で行なうことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 一般道路利用者を対象としている。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 定められた路線を整備するものであり向上の余地はない。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 市道の未改良部が多く存在する中、事業の廃止・休止を行なうと市民の生活環境の改善が図れない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 市道の整備であり、道路事業以外での方法はない。
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現在においても再生材を利用する等のコスト縮減を行なっているため、今後、事業費削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 最小限の人員により、適切な方法で業務を行なっているため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 道路は不特定多数の人が利用するものであり公平である。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

施行箇所については、効果につながる事業が実施できている。今後も最小限の予算で、最大の効果が出るように道路改良事業（単独事業）に取り組む。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入				
成果	効果につながる事業の実施ができた。今後も最小限の予算で、最大の効果が出るように業務を推進したい。		コスト	
		削減	維持	増加
	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	低下	<input type="checkbox"/>		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	438			事務事業名 (予算事業名)	県工事負担金事業 (県工事負担金事業)			
予算科目	会計	1	款	45	項	15	目	15

計画(Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実		市条例	
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標(何のために)		県が管理する市内の国道・県道における歩行者や車両通行の安全性向上のため改良工事の要望等をおこなう。				
事務事業概要(どのようなことを) …指標①		県単独事業による国道・県道の改良、舗装工事及び側溝整備等に対する費用負担。				
対象者(誰に対して) …指標②		国道・県道利用者				
手段・実施方法(どのようにするか)		県が単独で行う市内の国道・県道の改良、整備事業に対し費用の一部を負担する。				
期待される(見込まれる)成果(効果) …指標③④		地域住民と道路利用者の、利便性が向上し、車両や歩行者の安全が確保できる。				

実施(Do)

指標 / 年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	(決算)		(決算)		(決算)		(予算)		(予算)	
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	4	4	0	0	0	0
		路線数	路線	実績値	4	5	4	0	0	0
		活動指標イ	単位	目標値						
				実績値						
		②	対象指標ア	単位	目標値	4	4	0	0	0
			路線数	路線	実績値	4	5	4	0	0
	対象指標イ		単位	目標値						
				実績値						
	③	成果指標ア	単位	目標値	4	4	0	0	0	
		路線数	路線	実績値	4	5	4	0	0	
		成果指標イ	単位	目標値						
				実績値						
④	上位成果指標ア	単位	目標値	4	4	0	0	0		
	路線数	路線	実績値	4	5	4	0	0		
	上位成果指標イ	単位	目標値							
			実績値							
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			県支出金	千円						
			地方債	千円	5,700	7,100	7,200	4,700		
			その他	千円						
			一般財源	千円	2,250	400	420	250		
	事業費計(A)	千円	7,950	7,500	7,620	4,950	0			
	人件費	正規職員従業者人数	人	5	0	0	0	0		
延べ業務時間数		時間	240	0	0	0	0			
人件費計(B)		千円	960	0	0	0	0			
トータルコスト(A)+(B)			千円	8,910	7,500	7,620	4,950	0		

事務事業名	県工事負担金事業	部	建設部	課	建設課	係	管理係
-------	----------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 本事業は、道路利用者の安全確保のため実施する事業であることから結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 県の基準により県の単独事業として行われているため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 事業の採択基準により行われる国道・県道の改良、整備工事であることから妥当である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 県営事業のため、事業費枠を大きく確保できた場合、整備できる路線数も多くなる。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 道路利用者の安全の確保が困難な状況に陥る。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 採択基準により行われる事業であるため、連携は図れない。
	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 事業費による負担率が決定されているので、事業費削減の余地はない。
効率性 評価	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 最低限の事業量により行っていることから削減の余地は無い。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 受益者は市であることから見直し余地は無い。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

事業の採択基準により行われる国道・県道の改良、整備工事であることから適切な予算確保に努める。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
負担金事業につき、規定の負担金額を確保する。			削減	維持	増加
向上	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
低下	<input type="checkbox"/>				

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

県との連携

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	443			事務事業名 (予算事業名)	橋梁維持工事事業 (橋梁維持工事事業)			
予算科目	会計	1	款	45	項	15	目	20

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	道路法第42条
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実		市条例	
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標 (何のために)		良好な橋梁の維持。				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		老朽化した橋梁の点検及び補修工事の実施。 市道橋梁の日常的な維持管理業務、光熱費の支払い及び照明等修繕の実施。				
対象者 (誰に対して) …指標②		市道橋梁。				
手段・実施方法 (どのようにするか)		市道橋梁の維持管理。 老朽化した3橋の補修工事の実施。				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		橋梁補修事業を実施することにより橋梁利用者の安全を確保する。また、橋梁破損による通行止めを回避し、市民生活の安定を確保する。				

実施 (Do)

	指標 / 年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
			(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ 指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	4	4	3	0	0
		橋梁数	橋	実績値	4	4	3	0	0
		活動指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	②	対象指標ア	単位	目標値					
			実績値						
		対象指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	③	成果指標ア	単位	目標値					
			実績値						
		成果指標イ	単位	目標値					
				実績値					
④	上位成果指標ア	単位	目標値						
		実績値							
	上位成果指標イ	単位	目標値						
			実績値						
総 投 入 量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	32,207	85,075	38,221	86,573	
			県支出金	千円					
			地方債	千円	19,900	47,700	16,300	101,500	
			その他	千円					
			一般財源	千円	1,688	4,106	5,131	2,751	
	事業費計(A)	千円	53,795	136,881	59,652	190,824	0		
人件費		正規職員従業者人数	人	6	0	0	0	0	
		延べ業務時間数	時間	2,200	0	0	0	0	
		人件費計(B)	千円	8,800	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	62,595	136,881	59,652	190,824	0	

事務事業名	橋梁維持工事業	部	建設部	課	建設課	係	工務係
-------	---------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 快適で災害に強いまちづくりを目指す市の施策体系と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 市道橋梁の維持管理は道路管理者の義務であるため。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 市道橋梁の範囲に限定している。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 市道橋梁の維持することが目的であるため。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 市道橋梁を維持することができないため、利用者に支障がでる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 橋梁維持事業は他事業と統廃合はできない。
		<input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 事業費の内訳が光熱費と修繕費であるため削減の余地はない。現時点で必要最小限である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 最小限の人員により、適切な方法で業務を行なっているため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 市道橋梁は不特定多数が利用するため公平・公正である。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

住民が安心して生活する環境基盤を確保出来ているもの。今後も、限られた予算の中で最大の効果が得られるよう計画的に取り組んでいく必要がある。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可

<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	447			事務事業名 (予算事業名)	舗装工事業 (舗装工事単独事業)			
予算科目	会計	1	款	45	項	15	目	25

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	道路法第42条
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実		市条例	
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標 (何のために)		通行者の安全性・利便性を向上させる				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		市民からの通報、地域からの要望・パトロールにより現地を調査。 舗装工事要望→現地調査→優先順位の決定・維持修繕計画の策定→工事実施。				
対象者 (誰に対して) …指標②		地域住民及び通行利用者				
手段・実施方法 (どのようにするか)		路面修復及び舗装打ち換え工事を行うことにより、地域住民や通行利用者の安全な通行ができる。 舗装工事				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		快適で安全な通行ができるようにする 移動時間を短縮させる				

実施 (Do)

	指標 / 年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
				(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア 舗装計画路線	単位	目標値	10	12	19	0	0	
			件	実績値	10	11	19	0	0	
		活動指標イ	単位	目標値						
				実績値						
		②	対象指標ア 要舗装路線	単位	目標値	10	12	0	0	0
				件	実績値	10	11	0	0	0
	対象指標イ		単位	目標値						
				実績値						
	③	成果指標ア 舗装実施路線	単位	目標値	10	12	0	0	0	
			件	実績値	10	11	0	0	0	
		成果指標イ	単位	目標値						
				実績値						
④	上位成果指標ア 舗装実施路線	単位	目標値	10	12	0	0	0		
		件	実績値	10	11	0	0	0		
	上位成果指標イ	単位	目標値							
			実績値							
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			県支出金	千円						
			地方債	千円	22,200	33,700	84,700	46,500		
			その他	千円						
			一般財源	千円	15,904	1,858	4,550	2,500		
	事業費計(A)			千円	38,104	35,558	89,250	135,000	0	
	人件費		正規職員従業者人数	人	4	0	0	0	0	
			延べ業務時間数	時間	1,162	0	0	0	0	
			人件費計(B)	千円	4,648	0	0	0	0	
			トータルコスト(A)+(B)			千円	42,752	35,558	89,250	135,000

事務事業名	舗装工事事業	部	建設部	課	建設課	係	工務係
-------	--------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 舗装工事を実施し安全で快適な通行を確保することは、施策のひとつである都市基盤の整備（快適で災害に強いまちづくり）に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 上天草市道は不特定多数の人が利用するものであり、利用者の安全確保を図ることから妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 市道の範囲に限定している。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 要舗装箇所を舗装整備し、安全で快適な通行を確保することが目的である。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 要舗装箇所の舗装整備を廃止・休止した場合、都市基盤の整備ができず通行者の安全性・利便性の向上ができないため。また、既設舗装も劣化が進行しており、要舗装箇所は今後増加してくる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由 安全で快適な通行を確保すること（舗装）が目的であり、舗装事業以外方法はないため。
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 <input type="checkbox"/> 他に手段がない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 工事使用材料には再生材を使用する等、コスト削減を図っている。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 要舗装箇所が年々増加していくなかで、工事設計・監督等を必要最小限の人数で行っている。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 舗装後の市道は不特定多数が利用者するものであるため公平・公正である。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

地元地区要望の対象路線の中で、特に路面損傷の激しい箇所から限られた予算の範囲内で随時整備してきたが、一部の路線しか改善されていない。全計画路線を整備するには、莫大な経費が必要となるが今後、維持修繕計画を策定し優先順位評価要領に基づき順位度の高い箇所からの整備が必要。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
通行者の安全性を確保するために本事業の継続が必要（現状維持）。			削減	維持	増加
			向上	維持	低下
			<input checked="" type="checkbox"/>		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

上天草市管理の市道は延べ466kmあり市道区間の維持管理を行うことが、予算上困難な状況。今後は市道の廃止も含め維持管理計画の見直しが必要。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	461			事務事業名 (予算事業名)	河川一般事務事業 (河川一般事務事業)			
予算科目	会計	1	款	45	項	20	目	10

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	河川法
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実		市条例	
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標 (何のために)		河川施設の修繕、維持管理を適切に行うことにより公共の福祉を確保する。				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		河川・水路の維持管理 ・ 要望箇所や壊れている箇所の確認、施工順番の決定および地元との調整、工事の実施				
対象者 (誰に対して) …指標②		河川護岸占有者、河川沿いの住民				
手段・実施方法 (どのようにするか)		河川施設の点検を実施し不良箇所の維持工事を行う。				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		水害の発生を抑え、河川周辺住民が安心して生活する環境ができる。				

実施 (Do)

	指標 / 年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
			(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	0	0	1	0	0
		河川関係工事の発注件数	件	実績値	0	0	1	0	0
	②	活動指標イ	単位	目標値	0	0	0	0	0
		海岸関係工事の発注件数	件	実績値	0	0	0	0	0
	③	対象指標ア	単位	目標値	0	0	0	0	0
		2級河川数	本	実績値	0	0	0	0	0
	④	対象指標イ	単位	目標値	0	0	0	0	0
		準用河川数	本	実績値	0	0	0	0	0
	⑤	成果指標ア	単位	目標値	0	0	0	0	0
		増水時の氾濫箇所	箇所	実績値	0	0	0	0	0
	⑥	成果指標イ	単位	目標値					
				実績値					
	⑦	上位成果指標ア	単位	目標値					
				実績値					
⑧	上位成果指標イ	単位	目標値						
			実績値						
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円	125	135	137	137	
			地方債	千円					
			その他	千円	147	150	140	145	
			一般財源	千円	543	504	580	1,288	
	事業費計(A)			千円	815	789	857	1,570	0
	人件費	正規職員従業者人数	人	0	0	0	0	0	
		延べ業務時間数	時間	0	0	0	0	0	
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0		
		トータルコスト(A)+(B)			千円	815	789	857	1,570

事務事業名	河川一般事務事業	部	建設部	課	建設課	係	工務係
-------	----------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 河川の維持管理を行うことで地域住民の安全・財産を守ることとなるので「安全快適な生活環境づくり」に合致する。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 河川の流域は広く地域住民では維持管理が大変である。適正な管理を行わないと災害等が発生するので公共事業で行うべきである。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 現状でよい。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 河川の維持管理事業なので、現在の防護区域が広がることや狭くなることはない。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 事業を縮小した場合維持管理が十分できない箇所が増えるとともに、河川氾濫の危険性が増大し護岸決壊等を招くこととなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 地域にお願いできる分はお願いしている。工事における工法等も十分検討して必要最小限で実施しているので削減の余地は無い。
		<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 樋門管理については地域（個人）に委託しているが、工事関係は積算の秘密もあって無理である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 水害等から地域住民の生命・財産を守るために実施しており公平・公正である。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

河川の氾濫による水害を防止するため樋門の点検、管理を実施し河川周辺住民が安心して生活できる環境が維持できた。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
			削減	維持	増加
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input checked="" type="checkbox"/>		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	465			事務事業名 (予算事業名)	急傾斜負担金事業 (急傾斜負担金事業)			
予算科目	会計	1	款	45	項	20	目	10

計画(Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	31	災害に強い地域づくり、市民の防犯・防災意識の向上		市条例	
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標(何のために)		急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を保護するため、急傾斜地の崩壊を防止するために必要な措置を講じる。				
事務事業概要(どのようなことを) …指標①		管内の急傾斜・地すべりなどの危険箇所を調査し、県に事業実施の要望をする。県営事業の負担金や事業を進める上での地元との協議・日程調整等を行う。				
対象者(誰に対して) …指標②		防護区域内にある住民の生命や財産。				
手段・実施方法(どのようにするか)		急傾斜・地すべり等の資料作成、予算編成、地元説明会の開催。本年度実施事業に対する負担金の支払い。				
期待される(見込まれる)成果(効果) …指標③④		安全安心な生活環境の確保。				

実施(Do)

指標 / 年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
	(決算)		(決算)		(決算)		(予算)		(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	1	0	0	0	0	0	
		事業件数	件	実績値	3	1	2	0	0	0	
		活動指標イ	単位	目標値							
				実績値							
		②	対象指標ア	単位	目標値	0	0	0	0	0	0
			崖地危険箇所	箇所	実績値	925	925	925	0	0	0
	対象指標イ		単位	目標値							
				実績値							
	③	成果指標ア	単位	目標値	0	0	0	0	0	0	
		被災箇所数	件	実績値	2	1	1	0	0	0	
		成果指標イ	単位	目標値							
				実績値							
④	上位成果指標ア	単位	目標値								
			実績値								
	上位成果指標イ	単位	目標値								
			実績値								
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円		37,600	2,800	6,800			
			その他	千円							
			一般財源	千円	9,450	2,042	13,200	400			
	事業費計(A)	千円	9,450	39,642	16,000	7,200	0				
	人件費	正規職員従業者人数	人	5	0	0	0	0			
延べ業務時間数		時間	210	0	0	0	0				
人件費計(B)		千円	840	0	0	0	0				
トータルコスト(A)+(B)			千円	10,290	39,642	16,000	7,200	0			

事務事業名	急傾斜負担金事業	部	建設部	課	建設課	係	管理係
-------	----------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 崖地崩壊等による被害を防止し、住民の安全を守るために実施しているため「安全快適な生活環境づくり」に合致する。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 国土保全、住民の生命財産を守ることは行政の責務であるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 国・県の採択基準により事業を行っているため適切である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 国・県の採択基準の範囲内で執行しているので向上の余地はない。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 事業を実施し完了しなければ成果が出ないため、廃止・休止した場合に影響がある。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）	理由
		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 県が国の補助を受けて行う事業なので統廃合できない。
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 断面検討を行い、最も経済的な工法で施工しているため、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 最低限の業務量で対応しているため削減の余地は無い。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 国・県の採択基準により選定されているため、公平・公正である。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

土地の所有権（寄付行為）の同意の見直し

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
負担金事業につき、規定の負担金額を確保する。			削減	維持	増加
向上	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
低下	<input type="checkbox"/>				

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

県との連携

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	647			事務事業名 (予算事業名)	災害復旧事業 単独事業 (646補助含む)				
予算科目	会計	1	款	60	項	15	目	10	

計画(Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	公共土木施設災害復旧事業国庫負担法
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実		市条例	
事業開始		平成17年度			その他	
目的・目標(何のために)		異常な天然現象により被災した公共土木施設(市道)を復旧することにより公共の福祉を確保する。				
事務事業概要(どのようなことを) …指標①		大雨・台風後に調査→24時間雨量80mm以上、1時間雨量20mm以上の降雨、10分間平均風速15mm以上の異常な天然現象により市道が被災被害額60万円以上の場合 (国庫補助災害に該当→災害報告→現場草刈等整備→写真撮影・現場測量→査定設計 書作成→国庫負担申請→災害査定→実施設計協議→工事実施→竣工確認検査受検→国庫負担金請求→成功認定申請書類作成→成功認定書類・現場審査→国庫負担金認定(被害額60万円未満の場合)単独災害復旧事業に該当→現場測量→設計書作成→工事実施→検査→支払い				
対象者(誰に対して) …指標②		市道利用者				
手段・実施方法(どのようにするか)		被災した道路の調査を実施し最も経済的かつ使用に耐えうる工法を検討した後、復旧工事を行い従前の状態に戻す。				
期待される(見込まれる)成果(効果) …指標③④		市道利用者の安全な利用を可能にする				

実施(Do)

指標 / 年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
	(決算)		(決算)		(決算)		(予算)		(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	14	6	8	0	0	0	
		補助災害	箇所	実績値	14	0	8	0	0	0	
		活動指標イ	単位	目標値	0	9	0	0	0	0	
		単独災害	箇所	実績値	21	2	0	0	0	0	
		②	対象指標ア	単位	目標値						
					実績値						
	③	対象指標イ	単位	目標値							
				実績値							
		成果指標ア	単位	目標値	0	6	0	0	0	0	
		補助災害復旧	箇所	実績値	14	0	0	0	0	0	
	④	成果指標イ	単位	目標値	0	9	0	0	0	0	
		単独災害復旧	箇所	実績値	18	2	0	0	0	0	
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	60,258	11,323	13,975	549			
	事業費計(A)	千円	60,258	11,323	13,975	549	0				
人件費	正規職員従業者人数	人	6	0	0	0	0	0			
	延べ業務時間数	時間	2,361	0	0	0	0	0			
	人件費計(B)	千円	9,444	0	0	0	0	0			
トータルコスト(A)+(B)			千円	69,702	11,323	13,975	549	0			

事務事業名	災害復旧事業 単独事業（646補助含む）	部	建設部	課	建設課	係	工務係
-------	----------------------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 異常な天然現象により被災した市道を原形復旧することにより、快適で災害に強いまちづくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 市道は不特定多数が利用するものであり、被災したままでは安全な利用ができないため。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 対象は被災箇所（市道）であり、原形復旧するのが原則であるため対象・意図も妥当である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 原形復旧が目的であるので向上余地はない。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 不特定多数が市道の安全な利用ができなくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 理由 理由
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 設計の段階で数種類の工法検討を行い、最も経済的な工法を選択している。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 測量・設計・写真撮影を業務委託すると延べ業務時間の削減はできると思われる。しかし、毎年の災害発生件数・規模が異なるため業務時間を確定させることは難しい。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 市道は不特定多数のものが利用するものであるため公平・公正である。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）
 災害が発生した公共施設を早期に復旧することにより民生の安定が得られた。また、次年度においても早期に災害に対応するため本年度同様の予算確保が必要である。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可	改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入	成果	コスト			
単独災害事業において、測量、設計を業務委託することにより事務の効率化が図られる。		向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
 今後異常気象により道路災害の増加が予想されるため、事務の効率化が必要となる。
 単独災害については、測量設計を職員で行っているため業務委託により事務の効率化が図られる。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報									
事業コード	428			事務事業名 (予算事業名)	道路管理（台帳整備）事業 (道路管理事業)				
予算科目	会計	1	款	45	項	15	目	10	

計画 (Plan)										
計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち				根拠	法令(国)	道路法・道路法施行規則	
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる					法令(県)		
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実					市条例		
事業開始		平成17年度				その他				
目的・目標（何のために）		道路台帳整備は道路法第28条によって義務付けられている。台帳によって維持管理及び財産管理機能を適切にかつ有効に作用させなければならないことから、毎年度修正を的確におこなう必要がある。また、地方交付税の算定基礎数値としても利用されるため適切な管理を行う。								
事務事業概要（どのようなことを） …指標①		市道の管理者である上天草市は、道路の現況に変化があれば、それに合わせて台帳を整備（修正・作成）し保管する。 道路台帳の整備については、道路改良や側溝新設等、道路の形状を変更した工事の結果を受けて、変更対象となる路線・箇所を確認し修正等おこなう。								
対象者（誰に対して） …指標②		上天草市道の全路線								
手段・実施方法（どのようにするか）		市道は、道路法第3条の規定に基づく、道路法上の道路であり、市道の管理者である上天草市は、道路の現況に変化があれば、それに合わせて台帳を整備（修正・作成）し保管する。 道路台帳の整備内容は、図面及び調書をもって組成する。 ①道路改良や側溝新設等、道路の形状を変更した工事の結果を受けて、変更対象となる路線・箇所を確認する。 ②台帳修正等おこなう。 ③平面図の差替えと、調書数値のデータ修正を行う。								
期待される（見込まれる）成果（効果） …指標③④		市の財産である市道を適正に管理することで、正確な情報の把握を行い管理者としての責務を果たす。								

実施 (Do)										
指標 / 年度				平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
				(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア 修正対象路線延長	単位	目標値	0	0	0	0	0	0
			km	実績値	1.78	3.14	2.21	0	0	0
	活動指標イ 作成対象（新規）延長	単位	目標値	0	0	0	0	0	0	0
		km	実績値	0	0	9	0	0	0	0
	②	対象指標ア 市道路線数	単位	目標値	0	0	0	0	0	0
			路線	実績値	1,239	1,239	1,248	0	0	0
			単位	目標値	0	0	0	0	0	0
	対象指標イ 市道実延長	km	実績値	444.2	0	460.5	0	0	0	0
		単位	目標値	100	0	0	0	0	0	0
	③	成果指標ア 台帳整備率	%	実績値	100	100	100	0	0	0
単位			目標値							
			実績値							
④	上位成果指標ア	単位	目標値							
			実績値							
	上位成果指標イ	単位	目標値							
			実績値							
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	2,875	1,522	1,448	1,523		
	事業費計(A)			千円	2,875	1,522	1,448	1,523	0	
	人件費		正規職員従業者人数	人	4	5	0	0	0	
延べ業務時間数			時間	1,050	1,200	0	0	0		
人件費計(B)			千円	4,200	4,800	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	7,075	6,322	1,448	1,523	0		

事務事業名	道路管理（台帳整備）事業	部	建設部	課	建設課	係	管理係
-------	--------------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 市道の適正な維持管理及び財産管理を行うための台帳整備事業であることから施策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である）	理由 道路台帳の整備は、道路法第28条により道路管理者の責務と定められていることから公共関与は妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 道路法第28条に基づいた事務事業であることから対象・意図しているものは妥当である。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 最低限での台帳整備は毎年行っているが、システム整備等により管理が容易にするなどの台帳整備を電子管理すること等、向上の余地がある。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし）	理由 道路法第28条により義務づけられているため休止、廃止はできない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない	理由 統合型GIS等の導入 平面図のデータ化により統一管理が可能
		<input type="checkbox"/> 他に手段がない	理由
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 作成や修正を必要とする路線は毎年度発生するので削減余地は無い。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 道路台帳修正・作成作業については、業務委託しており、職員の事務については最低限の人件費であり削減の余地は無い。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 全市道路線の台帳整備事務事業であることから見直しの余地は無い。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）
道路法第28条で義務付けられた台帳管理であること、普通交付税の基礎数値であることから適正に整備し管理しなければならない。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
効率を考慮しつつ法定事務として確実に執行する。			削減	維持	増加
			向上	維持	低下
			<input checked="" type="checkbox"/>		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
工事部門と管理部門との連携

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報									
事業コード	428			事務事業名 (予算事業名)	道路管理（道路植栽管理）事業 (道路管理事業)				
予算科目	会計	1	款	45	項	15	目	10	

計画 (Plan)										
計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち				根拠	法令(国)		
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる					法令(県)		
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実					市条例		
事業開始		平成19年度				その他				
目的・目標（何のために）		市で管理する植樹帯（特に樹木）の景観維持管理及び、病虫害や特定外来生物等の駆除を行い、道路交通の安全性、快適性を高め沿道における良好な生活環境を確保することを目的とする。								
事務事業概要（どのようなことを） …指標①		松島有料道路入口付近の植樹帯について、樹木の剪定や除草作業及び病虫害等の駆除を実施。								
対象者（誰に対して） …指標②		松島有料道路入口付近の植樹帯								
手段・実施方法（どのようにするか）		樹木の剪定・防除、除草を業務委託								
期待される（見込まれる）成果（効果） …指標③④		景観の維持。市道の安全な通行。								

実施 (Do)									
指標 / 年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
			(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	0	0	1	0	0
		業務委託件数	件	実績値	1	1	1	0	0
		活動指標イ	単位	目標値					
	②	対象指標ア	単位	目標値	0	0	0	0	0
		植樹帯面積	m ²	実績値	2,379	2,379	2,379	0	0
		対象指標イ	単位	目標値	0	0	0	0	0
	③	樹木	本	実績値	41	41	41	0	0
		成果指標ア	単位	目標値					
		成果指標イ	単位	目標値					
	④	上位成果指標ア	単位	目標値	0	0	0	0	0
		クレーム件数	件	実績値	0	0	0	0	0
		上位成果指標イ	単位	目標値	0	0	0	0	0
事故発生件数		件	実績値	0	0	0	0	0	
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円				21,400	
			その他	千円		631			
			一般財源	千円	2,875		5,061	4,722	
	事業費計(A)			千円	2,875	631	5,061	26,122	0
	人件費	正規職員従業者人数	人	4	5	0	0	0	
		延べ業務時間数	時間	1,010	1,160	0	0	0	
		人件費計(B)	千円	4,040	4,640	0	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)			千円	6,915	5,271	5,061	26,122

事務事業名	道路管理（道路植栽管理）事業	部	建設部	課	建設課	係	管理係
-------	----------------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 理由 現在、高規格道路の玄関口であり、景観の維持は必要。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共（妥当である） 理由 里親を募集する等で、個人または法人に管理を任せることは可能である。しかし、草刈り等は素人でも出来るが、植栽（樹木）の管理には専門的な知識も必要となるため課題が残る。また、国道266号に接した植樹帯であるため危険性を考慮する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 理由 実施エリアは今の状態で良いと考える。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 植栽管理内容の見直しを行うことで管理の品質が低下しなければ向上の余地はある。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止（影響あり） <input type="checkbox"/> 廃止・休止（影響なし） 理由 植栽された樹木であるため、適正に管理しておかないと生育に支障がある。また、景観的にも好ましくない。しかし、毎年の事業とせず、隔年や数年に一度実施することを検討してみる必要がある。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） 理由 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない 理由 単なる除草作業ではなく植栽管理となるため除草委託等との統廃合は技術的にも困難。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない 理由
	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 国道266号と接している植樹帯であるため、危険性を考慮すると住民の協力は難しい。
効率性 評価	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 植樹管理については、既に業務委託している。人件費については、委託する際の資料作成・委託先との協議等であり削減は難しいと思われる。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない 理由 道路植樹帯が対象であるため、一部の者に偏った受益ではない。

評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

全体総括（振り返り、反省点）

対象が樹木であることから、今後成果が見え始めることとなる。これから、色々なことを検討していく必要がある。

今後の事業の方向性（改革・改善案）・・・複数選択可		改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要）		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） ※方向性を以下に記入				
成果		コスト		
		削減	維持	増加
	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	低下	<input type="checkbox"/>		

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策

植物の生育状況の見極めが難しいため、専門家の意見を聞きながら樹木管理の方法を検討していくことが必要である。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	988			事務事業名 (予算事業名)	道路維持補助事業 (道路維持補助事業)			
予算科目	会計	1	款	45	項	15	目	10

計画 (Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実		市条例	
事業開始		平成23年度			その他	
目的・目標 (何のために)		老朽化が進む道路・トンネル・橋梁等の道路施設について、道路利用者及び第三者の被害を防止するため。				
事務事業概要 (どのようなことを) …指標①		道路施設の点検結果を基に施設の補修・更新等を補助事業において実施している。				
対象者 (誰に対して) …指標②		市道利用者				
手段・実施方法 (どのようにするか)		路上目視の一時点検を実施し、前年度成果を基に近接目視等を行う二次点検箇所を選定、実施する。				
期待される (見込まれる) 成果 (効果) …指標③④		快適で安全な通行ができるようにする				

実施 (Do)

	指標 / 年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
			(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(予算)		
ハ 指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	0	2	1	0	0
		防災対策工事	箇所	実績値	0	2	1	0	0
			活動指標イ	単位	目標値	0	2	0	0
		道路法面点検	箇所	実績値	0	2	0	0	0
			対象指標ア	単位	目標値				
		②		対象指標イ		実績値			
	単位		目標値						
	③	成果指標ア		実績値					
			単位	目標値					
	④	上位成果指標ア		実績値					
			単位	目標値					
		上位成果指標イ		実績値					
単位			目標値						
総 投 入 量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	462	3,438	2,819	2,486	
			県支出金	千円					
			地方債	千円			1,700	1,500	
			その他	千円					
			一般財源	千円	248	1,852	17	14	
	事業費計(A)			千円	710	5,290	4,536	4,000	0
	人件費	正規職員従業者人数		人	4	0	0	0	0
		延べ業務時間数		時間	671	0	0	0	0
		人件費計(B)		千円	2,684	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)			千円	3,394	5,290	4,536	4,000

事務事業名	道路維持補助事業	部	建設部	課	建設課	係	工務係
-------	----------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	理由	都市基盤の整備(快適で災害に強いまちづくり)に結び付く。
	②公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公共(妥当である)
有効性 評価	なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	理由	市道の維持管理は道路管理者の義務である。
	③対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	理由	市道の範囲に限定している。
有効性 評価	④成果向上の余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
	向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	理由	道路の機能を維持することが目的である。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止(影響あり)	<input type="checkbox"/> 廃止・休止(影響なし)
	事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	理由	廃止・休止した場合、通行者の安全性・利便性の向上ができないため。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業)	
有効性 評価	目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	理由	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携できない
		理由	事業費を抑制するためには、補助事業に頼るしかないため、他の事業は考えられない。
		理由	<input type="checkbox"/> 他に手段がない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	理由	今後、更新時期を過ぎた施設が増加していき、単年度事業執行よりも対象施設が増加していくため。
効率性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	理由	今後、更新時期が過ぎた施設が増加していくため。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない
	事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	理由	市道は不特定多数が利用するため公平・公正である。

評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

全体総括(振り返り、反省点)
 対象施設が多く、優先的な施設を選定のうえ事業執行している状況。台帳等の整備を行い今後の管理計画を充実したい。また、施設の更新時期を考慮すると、今後、莫大な事業費が見込まれることから、補助事業を有効に活用して取り組んでいく必要がある。

今後の事業の方向性(改革・改善案)・・・複数選択可		改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
対象施設が多く、全施設の把握が十分でないため優先的な施設を決定し、事業執行をしている。台帳等の整備を行い管理計画の策定をしたい。今後、施設の更新時期が過ぎている施設が増加し続け、莫大な経費が必要となるため、補助事業での執行が必須となるが、補助採択要件を満たさない施設については単独事業での実施となる。			削減	維持	増加
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
 補助事業採択要件を満たすものを補助申請していくが、要件を満たさないものもある。今後、施設の更新時期を過ぎたものが更に増加していくため予算確保が難しい。

平成29年度 事務事業評価シート

基本情報

事業コード	1027			事務事業名 (予算事業名)	舗装工事補助事業 (舗装工事補助事業)			
予算科目	会計	1	款	45	項	15	目	25

計画(Plan)

計画体系	基本計画	3	安心 ふれあい・支えあうまち	根拠	法令(国)	
	政策	7	高齢社会に備えた安心、便利な生活基盤をつくる		法令(県)	
	施策	27	利便性の高い道路交通ネットワークの充実		市条例	
事業開始		平成24年度			その他	
目的・目標(何のために)		通行者の安全性・利便性を向上させる				
事務事業概要(どのようなことを) …指標①		平成25年度から路面性状調査を実施。調査結果を基に舗装工事計画を策定し、補助採択要領に基づき整備路線を選定のうえ舗装改良工事を実施している。				
対象者(誰に対して) …指標②		市道利用者				
手段・実施方法(どのようにするか)		路面性状調査と舗装構造調査の結果から表層打替え等の補修方法を決め、3路線にて舗装工事を実施する。				
期待される(見込まれる)成果(効果) …指標③④		快適で安全な通行ができるようにする				

実施(Do)

指標 / 年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	(決算)		(決算)		(決算)		(予算)		(予算)	
ハ指標 V	①	活動指標ア	単位	目標値	3	3	3	0	0	
		舗装計画路線数	路線	実績値	3	3	3	0	0	
		活動指標イ	単位	目標値						
				実績値						
		②	対象指標ア	単位	目標値	0	0	0	0	0
			要望路線数	路線	実績値	0	0	0	0	0
	③	対象指標イ	単位	目標値						
				実績値						
	④	成果指標ア	単位	目標値	3	3	0	0	0	
		舗装実施路線数	路線	実績値	3	3	0	0	0	
		成果指標イ	単位	目標値						
				実績値						
	上位成果指標ア	単位	目標値							
			実績値							
	上位成果指標イ	単位	目標値							
			実績値							
総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	18,518	14,505	12,023	37,290		
			県支出金	千円						
			地方債	千円	9,900	7,800	7,200	21,500		
			その他	千円						
			一般財源	千円	72	65	605	1,210		
	事業費計(A)	千円	28,490	22,370	19,828	60,000	0			
人件費	正規職員従業者人数	人	6	0	0	0	0			
	延べ業務時間数	時間	1,112	0	0	0	0			
	人件費計(B)	千円	4,448	0	0	0	0			
トータルコスト(A)+(B)			千円	32,938	22,370	19,828	60,000	0		

事務事業名	舗装工事補助事業	部	建設部	課	建設課	係	工務係
-------	----------	---	-----	---	-----	---	-----

評価 (Check)

評価の部 ※原則は事後評価、ただし複数年度事業は当年度実績を踏まえての途中評価

目的 妥当性 評価	①施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 舗装工事を実施し安全で快適な通行を確保することは、施策のひとつである都市基盤の整備(快適で災害に強いまちづくり)に結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜ、この事業を行政・市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公共(妥当である)	理由 上天草市道は不特定多数の人が利用するものであり、利用者の安全確保を図ることから妥当である
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 市道の範囲に限定している。
有効性 評価	④成果向上の余地 向上させる余地があるか？成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？何が原因で成果向上ができないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 要舗装箇所を舗装整備し、安全で快適な通行を確保することが目的である。
	⑤廃止・休止や活動削減の成果への影響 事務事業を廃止・休止、あるいは活動量を削減した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止(影響あり) <input type="checkbox"/> 廃止・休止(影響なし)	理由 要舗装箇所の舗装整備を廃止・休止した場合、都市基盤の整備ができず通行者の安全性・利便性の向上ができないため。また、既設舗装も劣化が進行しており、要舗装箇所は今後増加してくる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業)	理由 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携できない
		<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 交付金を活用しているため採択要件により他の事業と連携することができない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 活動量を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 事使用材料には再生材を使用する等、コスト削減を図っている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 要舗装箇所が年々増加していくなかで、工事設計・監督等を必要最少限の人数で行っている。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっていないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がない	理由 舗装後の市道は不特定多数が利用するものであるため公平・公正である。

評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

全体総括(振り返り、反省点)

平成23年度より補助事業にて舗装整備を実施しているが、まだ一部の路線しか整備できておらず利便性や安全確保が改善できている状況ではない。今後も、路面性状調査結果を基に整備路線を把握し更なる安全性向上を目指す。

今後の事業の方向性(改革・改善案)・・・複数選択可		改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ※方向性を以下に記入		成果	コスト		
これまで同様路面性状調査結果を基に、舗装事業を実施する。			削減	維持	増加
			向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策

交付金を活用した事業であるが、近年予算要求に対する内示額が50%を割込む状況となっており、事業への進捗に支障を来している。